

強羅は早雲山の中腹にある箱根を代表する観光スポット。強羅公園や箱根美術館などみどころや、ホテルや旅館、飲食店やお土産物屋など大変にぎやかです。

そもそも強羅は岩がごろごろしているから「ゴーラ」と名付けられるほど、岩だらけの荒れ果てた土地でした。

明治時代になると、東京の実業家たちが次々と土地を購入し、開発事業をはじめました。明治時代末までには早雲山や大涌谷から温泉がひかれ旅館が開業したり、道路が整備され温泉場としての基礎が形づくられました。

強羅が大きく発展するきっかけは、やはり鉄道の敷設と土地分譲が行われたことでしょう。明治時代末に小田原電気鉄道(株)(今の箱根登山鉄道)が強羅別荘分譲を開始し、大正8年には登山鉄道を開通させました。強羅は強羅公園を中心に整然と区画整理された街づくりがされ、当時の代表的な実業家が別荘を構え、高級住宅地として知られるようになりました。

その後、ケーブルカーが通るなど発展を続け、現在の観光地としての形を整えてきたのです。



4年の歳月をかけて整備されたモダンな庭園。噴水を中心に左右対称になっているフランス式で東洋のロックガーデンとも。国登録記念物(名勝)として登録されました。

YOSEGI-Chan



箱根町文化遺産活性化実行委員会

〒250-0315

神奈川県足柄下郡箱根町塔ノ沢 74(福住楼内)

監修 箱根町教育委員会



平成30年度文化庁文化芸術振興費補助金(文化遺産総合活用推進事業)の補助を受けて作成しています。

二ノ平は彫刻の森美術館があり、別荘地や住宅が広がる落ち着いたエリア。

縄文時代の土器が出土した北畑遺跡や、南北朝時代の武士である新田氏の墓と伝わる新田塚と呼ばれる墳丘があり、歴史の古さを物語ります。

江戸時代後期・文化8年(1811)、当時の箱根七湯の温泉場を解説した「七湯の枝折」に、「二ノ平」の地名が紹介され、野菜などの農産物を温泉場に売っていたことが記されています。

それ以降も太平洋戦争までは、13~14軒の農村でしたが、戦後、温泉が掘り当てられ、新たに旅館や寮、保養所などが開業し、少しずつ農村から観光地へと変化を始めました。

その後、昭和44年(1969)に彫刻の森美術館が開館し、現在のように多くの観光客を迎える、箱根のメジャースポットの一つになりました。



彫刻の森美術館は、昭和44年にオープン。日本初の野外美術館として開館し、大型の彫刻を野外で鑑賞するという当時としては画期的な展示方法が話題になりました。

二ノ平

1 彫刻の森駅

二ノ平めぐりはここからスタート。昔は「二ノ平駅」といわれていましたが、昭和48年に「彫刻の森駅」に変わりました。



2 箱根中学校

箱根町唯一の公立中学校。昭和25年に「明星中学校」として開校しました。翌年には校舎ができました。

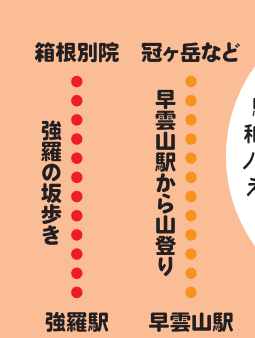
3 道祖神

この道祖神は2体の像が浮き彫りにされた「双体立像」。大正10年1月の銘が刻まれています。言い伝えでは、とりにある台座にも道祖神が祀られていたそうです。



7 早雲山駅

ケーブルカー終点の早雲山駅は開業当初、上強羅駅と呼ばれていました。また、昭和35年には箱根ロープウェイが芦ノ湖まで開通し、多くの観光客を迎えることとなりました。大雄山箱根別院の最寄駅であり、大涌谷や神山への登山道の入口でもある拠点です。



8 箱根別院

強羅開発を進める小田原電気鉄道(株)が、強羅の守護・発展の祈願所として、大正14年に南足柄市にある大雄山最乗寺の別院を勧請したものです。ここからは強羅や外輪山を一望できます。



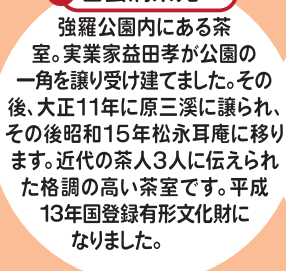
5 道祖神

強羅は近代に開発されたので、古い石造物はなかなか見られませんが、その中でこの道祖神は、箱根美術館入口付近にあるお地蔵様の横に祀られる小さな像で、貴重です。



4 白雲洞茶苑

強羅公園内にある茶室。実業家益田孝が公園の一角を譲り受け建てました。その後、大正11年に原三溪に譲られ、その後昭和15年松永耳庵に移ります。近代の茶人3人に伝えられた格調の高い茶室です。平成13年国登録有形文化財になりました。



3 箱根強羅公園

大正3年、小田原電気鉄道(株)が強羅開発のシンボルとして開園した施設で、早期のフランス式整形庭園として国登録記念物(名勝)となっています。



信の行者

幕末から明治時代にかけて活動した修験者。「箱根の守護者になる」といって冠ヶ岳に入寂(僧が死ぬこと)に入りました。強羅にある地蔵や碑は冠ヶ岳までお参りに行くことができない人の為に作られました。

2 太陽山荘

国登録有形文化財「太陽山荘」があります。本館は昭和15年に保養所として、別館は大正時代に別荘として建てられもので、戦前の強羅の面影を伝える貴重な建物です。



強羅



1 強羅駅

大正8年開業の箱根登山電車の終点です。ここからは早雲山行きのケーブルカーに乗り換えます。ケーブルカーは大正10年開通。ここから小涌谷、仙石原行きの「観光施設めぐりバス」も出発しています。



4 庚申塔

庚申塔は庚申信仰といって中国から伝えられた信仰を信じている人たちが建てた記念碑です。江戸時代後期、文化13年に建てられました。

5 山の神とアカガシの林

二ノ平集落の守り神です。5月5日に新田神社と併せてお祀りします。山の神の上にはアカガシの林が広がっています。カシ類の樹木では最も標高の高い所でみられます。

6 簡易水道の碑

水不足に悩んでいた二ノ平では、昭和6年に水源を開発し、「二ノ平簡易水道組合」を作って水の供給を始めました。この碑は平成3年に町営水道に切り替わった時に、記念に建てられたものです。



7 新田塚

新田塚は小さな墳丘です。室町時代、南朝方の武将・新田義則の墓と伝えられています。南北朝の争いが明徳3年に終わった後も、負けた南朝方の武将狩りは10年以上も続き、義則は応永10年にここで命を落したそうです。

8 木賀の滝不動

成田山の不動尊を勧請して祀られたもので、背後には流れ落ちる滝は不動の滝と呼ばれています。明治時代にはすでに不動明王の石造物があったと伝えられています。お参りするときは足元に注意してください。

